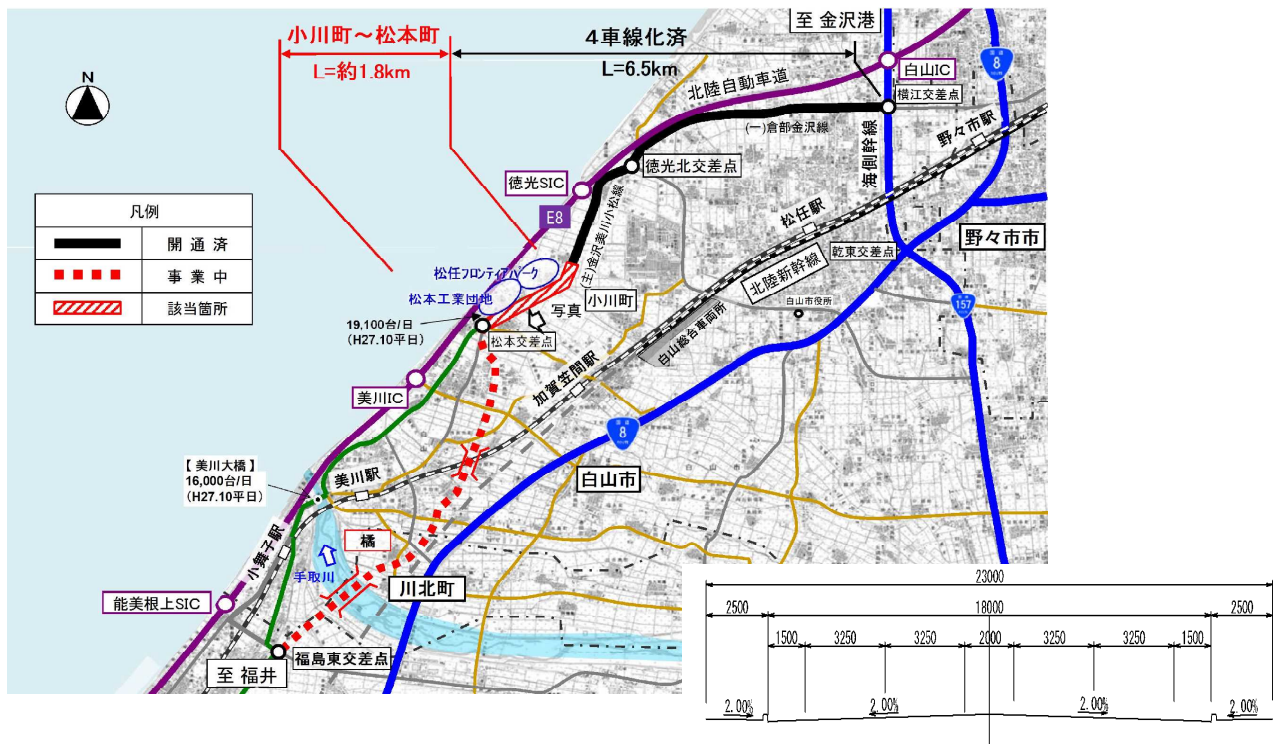


再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：野田 勝

| | | | | | |
|---|--|---|--|-----------|------|
| 事業名 | 重要物流道路 主要地方道 <small>かなざわ みかわ こまつ</small> 金沢美川小松線 | 事業区分 | 地方道 | 事業主体 | 石川県 |
| 起終点 | 自：石川県白山市小川町 <small>はくせん おがわまち</small> 至：石川県白山市松本町 <small>はくせん まつもとまち</small> | 延長 | 1. 8 km | | |
| 事業概要 主要地方道金沢美川小松線は、ものづくり企業が集積する加賀地域と金沢港とを連結する海側の新たな南北幹線として、「ダブルラダー輝きの美知」構想に位置付けている加賀海浜産業道路の一部を構成する重要な道路であり、加賀地域と金沢港の相互のアクセスを強化することで、金沢港の活性化はもとより、物流の効率化によるものづくり企業の機能強化や更なる集積に繋げ、加賀地域の更なる発展を図ることを目的として、白山市小川町～松本町までの延長1. 8 kmを整備するものである。 | | | | | |
| H30年度事業化 | H29年度都市計画決定 | 用地未着手 | 工事未着手 | | |
| 全体事業費 | 約20億円 | 事業進捗率 | 約0% | 供用済延長 | — km |
| 計画交通量 | 24,600台/日 | | | | |
| 費用対効果分析結果 | B/C (事業全体) 1. 8 (残事業) 1. 8 | 総費用 (残事業)/(事業全体) 79 / 79 億円 (事業費：74/74億円) (維持管理費：5.0/5.0億円) | 総便益 (残事業)/(事業全体) 140 / 140億円 (走行時間短縮便益：128/128億円) (走行経費減少便益：16 / 16 億円) (交通事故減少便益：-4.0/-4.0 億円) | 基準年：平成30年 | |
| 感度分析の結果 (事業全体) 交通量：B/C=1.6~1.9(交通量 ±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.6~1.9(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.6~2.0(事業費 ±10%) 事業費：B/C=1.6~2.0(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.7~1.9(事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.7~1.9(事業期間±20%) | | | | | |
| 事業の効果等 <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり企業が集積する加賀地域から金沢港及び北陸自動車道へのアクセス向上が図れる ・緊急輸送道路が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する | | | | | |
| 関係する地方公共団体等の意見 <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画決定の手続きにおいて、周辺住民と合意形成を図っている ・「ダブルラダー輝きの美知」構想（H27.3策定）の主要事業に位置付けられている | | | | | |
| 事業評価監視委員会の意見 事業継続を妥当と認める | | | | | |
| 事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 — | | | | | |
| 事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率 0%、事業進捗率 0% | | | | | |
| 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成30年度に事業着手し、測量や設計などを継続しており、今後は早期工事着手を目指し、用地買収にも着手する予定。 | | | | | |
| 施設の構造や工法の変更等 今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく | | | | | |
| 対応方針 | 事業継続 | | | | |
| 対応方針決定の理由 | 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。 | | | | |

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。